

◆目標値の設定及び考え方について

1.短期的目標(2012年度)

基準	新潟市	温室効果ガス種別	国(2010年度目安)
2005年度比	-11% (-80万t-CO2)	CO2	-10~-9% (-13,100~-11,800万t-CO2)
1990年度比 (京都議定書)	/	CO2	+1.3~+2.3% (+1,700~+3,000万t-CO2)
		CH4, N2O	-1.5% (-1,900万t-CO2)
		HFC,PFC, SF6	-1.6% (-2,000万t-CO2)
		森林吸収源, CDM等	-4.2~5.2% (-5,296~6,557万t-CO2)
		日本の排出削減目標	-6% (-7,500万t-CO2)

2.中長期的目標

	新潟市		全国(福田ビジョン)	
基準年	2005年度 (1990年度)		2005年度 (1990年度)	
目標年度	中期目標 2030年度	長期目標 2050年度	中期目標	長期目標 2050年度
目標値	約-40% (-35%)	約-80% (-75%)	来年発表 (2025年までに-14% 削減可能見通し)	-60~80%
取組方針	1家庭・業務・産業での省資源・省エネルギー 2地球にやさしいまちづくり 3取組の推進体制整備 4吸収源森林の確保		1革新的技術開発と既存先進技術の普及 2国全体を低炭素化へ動かす仕組みづくり 3地方, 国民の取組支援	

